

山北小学校
山北小学校だより

山北っ子

R3. 4. 12
第1号

文責
高田みゆき

一人一人が自分のめあてを持って

うららかな春の日差しの中、令和三年度が始まり
ました。一つ学年が上がリ、新しい学年への期待と
意欲が、登校してくる子どもたちの表情から感じる
ことができました。特に、入学式の準備をする六年
生のきびきびとした動きには、これから一年間、高
学年として学校を引っ張っていこうとする覚悟を感
じ、頼もしく思いました。

「始業式では、新しい一年のスタートにあたって、
どんな山北っ子になってほしいかを話しました。」

「気づき考え行動できる子ども」

「自分を大切にし、

友達の思いに寄り添える子ども」

「ねばり強くやり抜く子ども」

まತ್ತたよ、ぴかぴかの一年生。

四月九日(金)に二十二人の新入生を迎え、入学式を行いました。

少し緊張気味の一年生でしたが、担任の氏名点呼に大きな声で元気よく

「はい」と返事をする事ができました。今年は、新入生と六年生、十名の

来賓・保護者・教職員が参加する式となり、玉東町町長前田様より祝辞も

いただきました。新入生は、最後までしっかりと前を見て、式に参加すること

ができました。また、六年生は、お迎えの言葉を堂々といい、六年生として

の最初の大役を無事果たすことができました。

入学式で一年生に頑張ってもらいたいと話したこと

○先生の話をしっかり聞くこと(かしこく)

○友達となかよくすること(なかよく)

○ねばり強く最後までやり抜くこと(元気よく)

保護者・地域の皆様、これから一年生が山北小学校でしっかりと学べるよう
に、見守りをお願いします

これは、今年度、児童に付けた力として掲げた
『主体性・共感力・やり抜く力』をもとにしています。
一人一人が、一年後にどんな自分になりたいか・ど
んな力をつけたいか、そのために何をすればいいの
かを考えて、この一年取り組む具体的なめあてを立
てて、頑張ってくれることでしょう。

特別支援学級(おれんじ)が開級します

私は、常々、特別支援教育はこれからの教育にお
いて益々重要な位置を占めていくと考えています。

困り感のある児童にとって過ごしやすい学級、分か
りやすい授業は、ほかの児童にとっても楽しく過ご
せる学級ですし、分かりやすい授業です。特別支援

教育は、障がいのある人へのみの教育ではありません。

今年度新設する特別支援学級(おれんじ)では、

学級に在籍する一人一人の教育ニーズに応じた支援

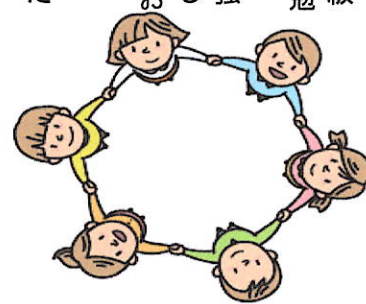
を、家庭・関係機関等と連携を図りながら行ってい
きます。一人一人に合わせた教育課程を計画し、学

習内容に合わせて特別支援学級(おれんじ)で学習

したり、通常学級で学習したりしていきます。つま

り、二つの学びの場があるのです。どの学級の児童
も生き生きと活躍できる学
校を目指します。

始業式で、特別支援学級
(おれんじ)は、「自分が勉
強しやすいところ(環境)
で、自分の力をのばす勉強
ができる学級」と、説明し
ています。お子さんに、「お
れんじ学級ってどんな学
級」と尋ねられたときは、
同じように説明していただ
ければと思います。



本校教職員の紹介

校長 高田みゆき (本校二年目)

教頭 吉野 新吾 (阿蘇波野小より)

一年担任 長尾 祐子 (長洲町立清里小より)

二年担任 坂井 英司 (本校三年目)

三年担任 池田 瞳 (本校七年目)

四年担任 小松 凜菜 (新規採用)

五年担任 北原 博明 (本校六年目)

六年担任 村上 晴菜 (本校三年目)

おれんじ学級担任

山王堂佳代 (本校四年目)

理科専科・教務 笠原 好 (本校二年目)

養護教諭 渡辺真知子 (本校二年目)

事務職員 木村 美樹 (本校三年目)

特支教育支援員 北島 由佳 (本校二年目)

特支教育支援員 藤本 夏海 (新規採用)

学校教育支援員 堤 美紀 (本校五年目)

英語指導助手(HT) ファウラ・シヨセフ・シヨソ

英語専科 北村 雅子(菊水小所属 本校兼務)

本年度は、この十七人で児童の教育にあたります。

教職員全員が一致団結し、「認め、ほめ、励まし、伸
ばし、そして、鍛える」教育実践を行って参ります。

